

授業科目

公衆衛生看護活動論II

担当教員名 小山 歌子、宇田 優子	対象学年	3	対象学科	看護
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	○

授業の概要

保健指導を理解するため、保健指導の目的、保健指導を実践するために必要な理論、方法、地域集団に対する組織化活動や地域ケアシステムづくりについて学習する。

授業の目的

地域で生活する人々の健康を保持増進、健康問題を改善するために必要な支援技術である保健指導について理解する。健康を支援するため、地域集団に対する組織化活動や地域ケアシステムづくりを理解する。

学習目標

1. 公衆衛生看護活動における保健指導の位置づけと目的を説明できる。
2. 保健指導を実践するために必要な理論を説明できる。
3. 個人や家族、集団に対する保健指導の方法を説明できる。
4. 地域住民の組織化を促進し、主体的な健康づくり活動の支援方法を説明できる。
5. 地域ケアシステムづくりの方法について説明できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	保健指導の概念	講義	小山 歌子
2	家庭訪問の目的、対象、プロセス及び方法	講義・DVD	小山 歌子
3	健康相談の目的、対象及び方法	講義・DVD	小山 歌子
4	健康診査の目的、対象及び方法	講義・DVD	小山 歌子
5	健康教育の目的、対象及び方法	講義・DVD	宇田 優子 他
6	グループ支援・組織化の方法	講義・DVD	小山 歌子
7	地域包括ケアシステムづくり	講義	小山 歌子
8	まとめ	講義	小山 歌子
* 授業内容・順序は変更する場合があります。			

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	公衆衛生看護学 jp 第4版	荒賀直子、後閑容子	インターメディカル	2014年	4,400円+税	既に購入したものを使用する。
	公衆衛生看護学	津村千恵子、上野昌江	中央法規	2012年	3,600円+税	既に購入したものを使用する。
参考書						
その他の資料						

評価方法

課題レポート	10%程度
小テスト	10%程度
筆記試験	80%程度

履修上の留意点

積極的な授業参加と十分な復習

オフィスアワー・連絡先

毎週水曜日9:00～12:00・utako-koyama@nuhw.ac.jp